

2020 春夏コレクション展  
藍の源流



2020 5月15日(金)～5月31日(日)  
11:00～17:00 月・火定休

この度、マトフ展を開催します。

本来なら、デザイナーの堀畑氏、関口氏が来訪され、

コレクションの興味深いテーマのお話などを企画する予定でした。

しかし、世界中に拡大しているコロナウイルス感染により、  
自粛いたしました。

展示会を開催する事も悩みましたが、せっかくこれまでの  
長い時間と多くの労力を経て出来上がった作品ですので、

富春館での作品展をすることに致しました。

徳島県の本藍にて、農業生産者からの自然の息吹を  
味わっていただきたく存じます。

無人にて試着も可能です。(ご希望であれば私が距離を置いて対応  
致します。)

扉を開けると、”すうつ”と光と風が通り抜けて行きます。

5月の富春館は、聖地のようにキラキラしています。

ゆっくりとした時間を感じながら、「気持ちをも新たにしたい。」  
と独り言を呟いています。

1日も早いコロナ終息を祈るばかりです。

どうか皆様ご愛くださいませ。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

帆足めぐみ



伝統的な技法を取り入れその土地や人の魅力も伝える徳島県の「藍」

徳島県は「阿波」と呼ばれ、藍染の染液の元である「すくも」の国内最大の生産地。現在「すくも」を作る藍師は5軒しかないという。藍畑から植物の命をもらって染めた、藍の命が詰まった洋服。現地で得たインスピレーションが形に！

糸から染めた「紺（かすり）」は、水の恩恵さざ波を表現。

グラデーシヨンのジャケットは、和紙を細く裁断して作った糸を使用。通気性に優れ、軽やかな着心地。

徳島の伝統的な技法を現代へと伝えられていることこそ、

「過去からの伝統的な技法を現代へと伝えられていることこそ、本当のサステイナブルだと思う」と、マトデザイナーの堀畑氏は語る。

